

毎日十分間のお勤め 大字版

檀信徒礼誦式

日蓮宗 久々知山 広濟寺 編

奉 請
ぶ じょう

唯願法界海
ゆいがんほうかいかい

諸仏諸賢聖
しよぶつしよげんじょう

哀愍垂降臨
あいみんすいごうりん

莊嚴此道場
しょうごんしどうじょう

唯願我等輩
ゆいがんがとうはい

心身俱清淨
しんじんぐしようじょう

三業福智修
さんごうふくちしゆ

成就如來事
じょうじゆによらいじ

唯願衆功德
ゆいがんしゆくどく

回向悉周偏
えこうしっしゆうへん

此界及十方
しかいぎゆうじつぽう

利益不唐捐
りやくふとうえん

開経偈 かいきようげ

無上甚深微妙の法は。 むじようじんじんみみよう ほう 百千万劫にも遭いたてまつる ひやくせんまんこう あ

こと難し。 がた 我今見聞し受持する事を得たり。 われいまけんもん じゆじ こと え 願わく ねが

は如来の第一義を解せん。 によらい だいいちぎ げ 至極の大乗。 しごく だいじよう 思議すべか しぎ

らず。 けんもんそくち 見聞觸知。 けんもんそくち 皆菩提に近づく。 みなぼだい ちか 能詮は報身。 のうせん ほうしん 所 しよ

詮は法身。 せん ほっしん 色相の文字は。 しきそう もんじ 即ち是れ応身なり。 すなわ こ おうじん 無量 むりよう

の功德くどく。皆是みなこの経きように集あつまれり。是この故ゆえに自じ在ざいに。冥みように
薰くんじ密みつに益やくす。有う智ち無む智ち。罪つみを滅めつし善ぜんを生しょうず。若もしは
信しん若もしは謗ほう。共ともに仏ぶつ道どうを成じようず。三さん世ぜの諸しよ仏ぶつ。甚じん深じんの妙みよう
典でんなり。生しょう生じよう世せ世せ。值ち遇ぐうし頂ちよう戴だいせん。

● (鈴)

妙法蓮華經方便品第二みようほうれんげきようほうべんぼんだいに

(付)

爾に時じ世せ尊そん。從じゆう三さん昧まい安あん詳じよう而に起き。告ごう舍しゃ利り弗ほつ。諸しよ佛ぶつ

●(鈴)

ちーえーじん じん むーりようごーちーえーもん なん げーなんにゆういっさいしよう
智慧甚深無量其智慧門難解難入一切声

●(鈴)

もんひやくしーぶつ しょうふーのーちーしょういーしゃーがーぶつ ぞう しん こん ひやく
聞辟支仏所不能知所以者何仏曾親近百

●(鈴)

せん まん のく むーしゆうしよーぶつ じんぎようしよーぶつ むーりようどう ほう ゆうみよう
千万億無数諸仏尽行諸仏無量道法勇猛

しょうじん みようしよふーもん じようじゆーじん じん みーぞーうーほう ずいぎーしよー
精進名称普聞成就甚深未曾有法随宜所

せつ いーしゆーなん げーしゃり ほつ ごーじゆーじようぶつ ち らいしゆーじゆーいん
説意趣難解舍利弗吾從成仏已來種種因

ねん しゆーじゆーひーゆーこう えん こん きよう むーしゆーほう べん いん どうしゆーじよう
縁種種譬論広演言教無数方便引導衆生

りようりーしよーじゃくしよういーしゃーがーによーらいほうべんちーけん は ら みつ
令離諸著所以者何如来方便知見波羅蜜

かい いーぐーそくしゃり ほつによーらいちーけんこうだいじん のんむーりよう
皆已具足。舍利弗。如来知見。广大深遠。無量
むーげーりきむーしよーいーぜんじようげーだつさんまい じんにゆうむーさいじよう
無礙。力。無所畏。禪定。解脫。三昧。深入無際。成
じゆういっさいみーぞーうーほうしゃり ほつによーらいのうしゆーじゆーふんべつ
就一切。未曾有法。舍利弗。如来能種種分別。
ぎようせつしよーほうごん じーにゆうなんえつ かーしゆうしんしゃり ほつしゆーよう
巧說諸法。言辞柔軟。悅可衆心。舍利弗。取要
ごんしーむーりようむーへんみーぞーうーほうぶつ しつじようじゆーしーしゃり
言之。無量無辺。未曾有法。仏悉成就。止。舍利
ほつ ふーしゆーぶーせつしよーいーしゃーがーぶつしよーじようじゆだい いちけーう
弗。不須復說。所以者何。仏所成就。第一希有。
なんげーしーほうゆいぶつよーぶつないのうくーじんしよーほうじつそうしよ
難解之法。唯仏与仏。乃能究尽。諸法実相。所

(三回目のみ鈴)○

い しよーほうーによーぜ そうーによーぜ しよーによーぜ たいによーぜーりきによーぜ
謂 諸法。如是相。如是性。如是体。如是力。如是

○(三回目のみ鈴)

さーによーぜ いんによーぜ えんによーぜ かーによーぜ ほうーによーぜ ほんまつ
作。如是因。如是縁。如是果。如是報。如是本末

く きようとう
究 竟 等。

(「所謂諸法」より三回繰り返し)

●(鈴)

みようほうれんげーきようによーらいじゆーりようほんだいじゆーろく

妙法蓮華経如来寿量品第十六

(付)

じーがーとくぶつらい しようきようしよーこつしゆむーりようひやくせんまんおくさいあーそーぎ

●(鈴)
自我得仏来 所経諸劫数 無量百千万 億載阿僧祇

じようせつぼうきようけむしゆーおくしゆうじようりようにゆうおーぶつどうにーらいむーりようこう

常説法教化 無数億衆生 令入於仏道 爾來無量劫

●(鈴)

いーどーしゆうじようこ ほうべんげんえーはん にーじつふーめつど じようじゆうしーせつぼう

為度衆生故 方便現涅槃 而実不滅度 常住此説法

●(鈴)

がーじようじゆーおーし いーしよーじんずうりきりようてんどうしゆーじようすいごんにーふーけん

我常住於此 以諸神通力 令顛倒衆生 雖近而不見

しゆうけんがめつど

こうくーようしゃり

げんかいえーれんぼ

にーしようかつごうしん

衆見我滅度 広供養舍利 咸皆懷恋慕 而生渴仰心

しゆーじようきーしんぶくしちじきいーにゆうなん

いっしんよくけんぶつ

ふーじーしゃくしんみよう

衆生既信伏 質直意柔軟 一心欲見仏 不自惜身命

じーがーぎゆうしゆーそうくーしゆつりようじゆーせんがーじーごーしゆーじようじようざいしふーめつ

時我及衆僧 俱出靈鷲山 我時語衆生 常在此不滅

いーほうべんりきこ

げんうーめつふーめつ

よーこくうーしゆーじようくーぎようしんぎようしや

以方便力故 現有滅不滅 余国有衆生 恭敬信樂者

がーぶーおーひーちゆう いーせつむーじようほう によとうふーもんし たんにーがーめつど

我復於彼中 為説無上法 汝等不聞此 但謂我滅度

がーけんしよーしゆーじようもつざいおーくーかい こーふーいーげんしん りようごーしよつかつごう

我見諸衆生 没在於苦海 故不為現身 令其生渴仰

いんごーしんれんぼ ないしゆつゐーせつぼう じんづうりきによーぜ おーあーそーぎーこう

因其心恋慕 乃出為説法 神通力如是 於阿僧祇劫

じようざいりようじゆーせんぎゆうよーしよーじゆうしよしゆーじようけんこうじんだいかーしよーしよじ

常在靈鷲山 及余諸住处 衆生見劫尽 大火所焼時

がーしーどーあんのん てんにんじようじゆうまん おんりんしよーどうかく しゆーじゆーほうしよーごん

我此土安穩 天人常充滿 園林諸堂閣 種種宝莊嚴

ほうじゆーたーけーか しゆーじようしよーゆうらくしよーてんきやくてんく じようさーしゆーぎーかく

宝樹多花果 衆生所遊樂 諸天擊天鼓 常作衆伎樂

うーまんだーらーけ さんぶつぎゆうだいしゆ がーじようどーふーきーにーしゆうけんしよーじん

雨曼陀羅華 散仏及大衆 我淨土不毀 而衆見焼尽

うーふーしよーくーのう

にようぜーしつじゆうまんぜーしよーざいしゆーじよういーあくごういんねん

憂怖諸苦恼

如是悉充滿

是諸罪衆生

以惡業因縁

かーあーそーぎーこう

ふーもんさんぼうみよう

しよーうーしゆうくーどくにゆうわーしちじきしや

過阿僧祇劫

不聞三宝名

諸有修功德

柔和質直者

そっかいけんがーしん

ざいしーにーせつぼう

わくじーいーしーしゆ

せつぶつじゆーむーりよう

則皆見我身

在此而説法

或時為此衆

説仏寿無量

くーないけんぶつしや

いーせつぶつなんち

がーちーりきによーぜ

えーこうしよーむーりよう

久乃見仏者

為説仏難値

我智力如是

慧光照無量

じゆーみようむーしゆうこうくーしゆうごうしよーとくによーとううーちーしや もつとーしーしよーうぎ

寿命無数劫

久修業所得

汝等有智者

勿於此生疑

とうだんりようようじん

ぶつごーじつぷーこう

によういーぜんほうべんいーじーおうしーこ

当断令永尽

仏語実不虛

如医善方便

為治狂子故

じつざいにーごんし

むーのうせつこうもう

がーやくいーせーぶー

くーしよーくーげんしや

实在而言死

無能説虚妄

我亦為世父

救諸苦患者

いーぼんぶーてんどう
為凡夫顛倒

じつざいにーごんめつ
實在而言滅

いーじようけんがーこ
以常見我故

にーしようきようしーしん
而生・恣心

ほういつじやくごーよくだーおーあくどうちゆう
放逸著五欲

がーじようちーしゆーじようぎようどうふーぎようどう
墮於惡道中

まいじーさーぜーねん
我常知衆生

いーがーりようしゆーじよう
行道不行道

ずいおーしよーかーど
隨心所可度

いーせつしゆーじゆーほう
為説種種法

まいじーさーぜーねん
每自作是念

いーがーりようしゆーじよう
以何令衆生

とくにゆむーじようどう
得入無上道

そくじようじゆーぶっしん
速成就仏身

● (鈴)

南無妙法蓮華經

(回数適宜 十数回〜数十回)

● (鈴)

ほうとうげ
宝塔偈

此經難持 しきようなんじ

若暫持者 にやくざんじーしゃ

我即歡喜 がそくかんぎ

諸仏亦然 しよぶつやくねん

如是之人 によぜしーにん

諸仏所歎 しよぶつしよーたん

是則勇猛 ぜそくゆうみよう

是則精進 ぜそくししようじん

是名持戒 ぜみようじかい

行頭陀者 ぎようずだーしゃー

則為疾得 そくいしつとく

無上仏道 むじようぶつどう

能於來世 のうおうらいせ

讀持此經 どくじしきよう

是真佛子 ぜしんぶつし

住淳善地 じゆうじゆんぜんじ

仏滅度後 ぶつめつどーご

能解其義 のうげごーぎ

是諸天人 ぜししようてんにん

世間之眼 せけんしーげん

於恐懼世 おくいーせ

能須臾說 のうしゆーゆーせつ

一切天人 いっさいてんにん

皆忘供養 かいおーくーよう

回え向こう

願ねがわくは此この功徳くどくを以もつて、普あまねく一切いっさいに及およぼし、我われ
等らと衆生しゅじょうと皆共みなともに仏道ぶつどうを成じょうぜん。

南無妙法蓮華經なむみょうほうれんげきょう 南無妙法蓮華經なむみょうほうれんげきょう 南無妙法蓮華經なむみょうほうれんげきょう

●●● (鈴三打「大小大」) (最後に礼拝)

檀信徒対象 練習用お経品

初版 平成四年四月一日

第三版 平成十二年七月十五日

印刷・編集 日蓮宗 広濟寺

発行者 石伏 叡齋（広濟寺副住職）

〒六六一 兵庫県尼崎市久々知一丁目三番二十七号

電話 〇六・六四九一・〇八一五

FAX 〇六・六四九一・〇〇四六

eisai@kosaiji.org <http://www.kosaiji.org/>